

日本統治時代の台湾の歴史

作成者

日三甲 吳俞君 406141278

日三甲 盧嘉矜 406141266

日三甲 紀映慈 406141280

日三乙 蔡宛芸 405142550

仲林直香 F08124001

日治時期的台灣歷史

要旨

在筆者們的投票下，此次報告內容決定比較台灣與日本的服裝歷史，探討歷史中台灣的服裝有什麼樣的改變等。然而歷史的洪流太長且複雜，因此本次報告將內容聚焦在日本統治時期。那段歷史是台灣人都必須學習的過去，但身為統治者的日本卻不是人人都非常了解那段過往，故為了小組中的日本籍成員以及或許對台灣歷史抱有好奇心的日本人，筆者們打算從日本統治下的台灣開始介紹起，一方面回憶台灣的過去，另一方面也為想了解台灣的日本人做一點貢獻。

筆者們挑選了日治時期台灣發生過的幾起大事件，包括事情開端的甲午戰爭、馬關條約，還有北中南的大事件。針對一般大眾，調查日本人對於這些事件的認知度。比較日本與台灣的歷史教科書，探討篇幅差異與內容的詳細程度。利用網路資料完整介紹事件的起源、過程與結果。配合書面資料作出歷史上記載的服裝樣式。

根據調查，大多數的日本人與台灣人所知道的歷史差異甚遠，由於台灣僅是一個殖民地而非日本本土，因此關於台灣的過去並未有很詳細的說明。而日治時期對台灣而言是段不可抹滅的歷史，過程中筆者們也發現很多以前沒有在教科書上學到的歷史。最後這個報告不僅能對日本人有幫助，對筆者們而言也是一堂印象深刻的課程，不僅可以反思過去，並且將歷史看得更深，此外還要使用日文敘述、表達做出最後的呈現。雖然過程並不簡單，但是對於筆者們來說是一次很好的經驗。

關鍵字：日本跟台灣、起源、歷史、戰爭

序言

今回、レポートを作成するにあたってグループで話し合った結果、グループ内の日本人留学生の希望により台湾の日本統治時代の歴史について調査することになった。話し合いの中で台湾の歴史の教科書と日本の歴史の教科書はそれぞれ日本統治時代の台湾についてどのように記してあるのかという疑問が挙げられた。台湾は日本によって統治されたという歴史があるが、日本の教科書はその歴史をどのように記しているのか、日本人はこの時代についてどの程度知っているのか、そしてどのような出来事が起こったのか、このようなことを中心に調査をすることにした。日本の教科書を基本とし台湾のものと比較して、どのような違いがあり、その違いはどのようなことが原因なのかを探っていく。またこのレポートでは台湾で起きた日本人にあまり知られていないいくつかの事件、日本が行った政策によって変化した台湾人の服装についても紹介する。

調査方法

今回のレポート作成にあたっての調査方法は、まず日本と台湾の歴史の教科書に日本統治時代の台湾についてどのような記述がされているのかを知るために、日本のものを中心に、それぞれの国の教科書を比較する。そして日本人の日本統治時代の台湾に関する歴史認識に関してはアンケートを作成し調査を行う。歴史・服装の変化に関してはインターネットや本などから重点をまとめる。

教科書の違い

以下は今回私たちが比較のために使用した教科書のリストである。

台湾一『普通高級中學 歴史 第一冊』泰宇出版，2012年(中華民國曆では101年)

日本一『新選日本史 B』東京書籍，2004年

『世界史 A 新訂版』実教出版，2007年

『日本史 A：現代からの歴史』東京書籍，2008年

『詳説日本史：日本史 B. 改訂版』山川出版社，2007年

『高校世界史：世界史 B. 改訂版』山川出版社，2007年

『高校日本史 A 新訂版』実教出版，2007年

日本と台湾の教科書を比較すると、台湾の教科書には数十ページにわたって詳細に記載されていたが、日本のものにはこの時代に関する記載がほぼなく、台湾が統治されていた

時期にどのようなことが行われていたのかも記載されておらず、「日本が台湾を統治した」という一文のみが記載されているものもあった。私たちが読んだ教科書の中で一番多く記載されているものでも1ページ程度のみであった。このように教科書によって扱われ方も大きく異なるので、日本人の日本統治時代の台湾に関する歴史認識度はかなり低いことが予測される。

アンケートの概要

今回作成したアンケートは2019年10月29日に作成・公開し、2019年11月11日までの回答を集計したものであり、目的は日本人の日本統治時代の台湾の歴史に対する認識を調査することである。そのため回答者の対象を日本人に絞って調査を行った。今回のアンケートには76人の日本人による協力を得ることができた。またその大部分は十代後半から二十代前半であった。

アンケートの結果

主な質問は6つで、以下のとおりである。(詳しい質問内容は参考文献の欄にアンケートのURLから閲覧可能)

1. 台湾が日本によって統治されていたことを知っているか — (はい/いいえ)
2. 日清戦争を知っているか — (はい/いいえ)
3. 下関条約を知っているか — (はい/いいえ/なまえは聞いたことがある)
4. 霧社事件を知っているか — (はい/いいえ)
5. 苗栗事件を知っているか — (はい/いいえ)
6. 西来庵事件を知っているか — (はい/いいえ)

1～3の質問は台湾が日本による統治に関することや、統治を受けるきっかけとなった事柄についての質問である。1～3の質問に対する回答から非常に興味深いことがわかった。それは、日本人には台湾統治は何がきっかけで始まったのかということを知らない人が多くいるということである。アンケートに回答した約80%の日本人は台湾が日本による統治をうけていたことを知っていた。また約98%の日本人は日清戦争が起こったことや下関条約が締結されたことを知っており、下関条約が締結されたことを知っている人と答えた人の中で内容まで知っている人と答えた人は全回答者数を母数とし全体の約36%であった。しかし、日清戦争が起きたことや下関条約が締結されたことを知っている人が約98%いるのに対し、台湾が日本によって統治されていたことを知っているのは約80%と差が18%もあった。また、下関条約の内容まで知っている人と回答した人の中に、台湾が日本による統

治を受けていたことを知らないと回答した人が一名いた。ほかにも、下関条約の内容まで知っているという回答した人の中に質問2の記述欄にて「日清戦争に勝利したことで遼東半島を得た」と記述している人が数名いた。遼東半島を得たというのは正しいのだが台湾の記述がなかったため、詳しい内容まで知っているとは言えないだろう。これらを下関条約の詳しい内容まで知っているという回答した人の数から省くと詳しい内容を知っているのは約36%から約29%に下がる。台湾は下関条約が締結されたことによって日本に割譲され統治を受けることになるのだが、詳しい内容を知らないということは、すなわちこの条約によって台湾が統治されるようになったことを知らないということである。以上のことから、台湾が統治されるきっかけとなったのが日清戦争によって締結された下関条約であるということとはあまり知られていないと言える。

4～6の質問については日本人にあまり知られていない日本統治時代の事件についての質問である。この3つの質問のうち一番知られているものでも約9%で霧社事件であった。二番目に知られているものは西来庵事件で日本統治時代に起きた事件の中で最も大きな事件であるが、知っている人は約3%であった。三番目は苗栗事件であったがこの事件を知っている人はわずかに約1%であった。これらの事件について知っているという回答した人のほとんどは教科書から知ったと回答したが、中には高齢や台湾人から聞いたと答えた人もいた。

歴史紹介

以下では台湾が日本による統治を受けることになった原因を作った出来事、日本統治下で起こった事件などを簡潔にまとめたものをいくつか紹介していく。

1. 日清戦争(甲午戦争)

日清戦争とは1894年(明治27年)7月25日から1895年(明治28年)4月17日にかけて朝鮮への日本と清国の間で行われた戦争である。この戦争は清国が勝利するかと思われたが、清国の軍備管理がおろそかであったことや清国内で統制がうまく取れていなかったことなどから、日本が勝利した。後に出てくる下関条約(馬關条約)の締結を招いた戦争であり、結果的に台湾が日本の植民地とされる原因となった。

背景

この戦争は日本、清国の両国が朝鮮への影響力拡大を狙っていたことによって起きた戦争である。日清両国ともにロシアの脅威を恐れ、朝鮮に影響を持ちたいと考えていた。発端は江華島事件がきっかけで1876年に日本と朝鮮国との間に締結された日朝修好条規という不平等条約である。この条約が締結されたことで日本は朝鮮国に影響を持ち始めるように

なった。いっぽうで清も朝鮮の宗主国として強い力を持っており、朝鮮の政治などへの内部干渉がよく行われていた。こういった両国の思惑に加え、1882年に朝鮮国内では壬午事変が起こりその中で、清のやり方に対して従うべきだという事大党(保守派)と、これを不当とする独立党が対立していた。清は前者、日本は後者を支援した。その後、朝鮮の首都漢城で民衆の日本に対する反日感情、待遇への不満などから1894年に甲申政変が起き、結果的に日本、清ともに朝鮮へ出兵することとなった。この二つの国の間に緊張が走る中、1885年に日本と清国の間に朝鮮国に手出しをしないということを約束する天津条約が締結された。しかし、1894年に朝鮮全羅道で農民の武装蜂起(甲午農民戦争)が起き、朝鮮が清に軍を要請した。清国は朝鮮に軍を派遣したが、これを日本は天津条約に違反しているとし、日本もそれに対抗し朝鮮に軍を派遣することとなった。日本軍が到着したころにはすでに甲午農民戦争は鎮静化されていたが、その後も朝鮮から軍の撤退を要請されたものの、両軍ともにこれを受け入れなかった。この甲午農民戦争が決定打となり、1894年の豊島沖海戦にて日清戦争は開戦することとなった。

日清戦争での戦闘

1894年7月25日	豊島沖海戦
1894年7月28日－7月29日	成歓の戦い
1894年9月15日	平壤の戦い
1894年9月17日	黄海海戦(鴨緑江海戦とも)
1894年10月24日－10月25日	鴨緑江作戦
1894年11月21日	旅順口の戦い
1895年1月20日－2月12日	威海衛の戦い
1895年3月4日	牛莊作戦
1895年3月24日	澎湖列島攻略戦

以上が日清戦争での戦闘となるが、これらの戦闘のほとんどで日本軍の死傷者数と清軍の死傷者数には大きな差があり、日本軍の死傷者数に比べると台湾軍の死傷者数は非常に多かった。

1895年5月29日－10月21日 乙未戦争

この戦闘は日清戦争終結後のものであるが、下関条約締結後、台湾の割譲が決定し、日本軍が台湾に上陸した際、台湾に残っていた清軍の兵士の一部や台湾住民との間に起こった戦闘である。

影響

日清戦争によって日本と清の間に下関条約が締結され、遼東半島、台湾、澎湖諸島の割

讓が決定する。またこの戦争によって両国ともに犠牲者を出すこととなったが、特に清は非常に多くの犠牲者を出した。

2. 下関条約/日清講和条約(馬關條約)

1895年4月17日に現在の山口県下関で締結された日清戦争の講和条約である。講和会議に臨んだのは、日本側が内閣総理大臣の伊藤博文と、外務大臣の陸奥宗光(むつむねみつ)。清側は北洋大臣直隷総督の李鴻章(りこうしょう)と、欽差大臣の李經方(りけいほう)である。下関条約は不平等条約であり、清国にとって非常に不利なものであった。条約の中国語の原本は台北国立故宫博物院、日本語の原本は東京国立公文書館にて保管されている。

内容

以下の四つは下関条約の主な内容を簡潔に説明したものである。

1) 朝鮮の独立の承認

朝鮮の独立を清国に認めさせるということは、これまで清が朝鮮を属国としていたのを廃止すること、すなわち朝鮮国への影響力をなくす、及び朝鮮国への内部干渉をやめさせるということであった。

2) 清は遼東半島、台湾、澎湖諸島を割譲すること

(遼東半島はのちの三国干渉で返還される)

3) 2億両(日本円にすると約三億円)の賠償金の支払い

この金額は当時の日本の国家予算の約2倍の金額であった。

日本の賠償金の用途は以下のとおりである。

軍備拡張：62.7%

臨時軍事費：21.9%

皇室費用：5.5%

台湾経費補充金：3.3%

教育基金：2.7%

災害準備金：2.7%

その他：1.1%

4) 日清通商航海条約の締結と沙市・重慶・蘇州・杭州の開港・開市、またその地での治

外法権などを認めること

日本は清国との間に日清通商航海条約という不平等条約を締結し、最恵国待遇や関税自主権などを清に認めさせた。清国は当時、外国人に対し決まった場所でのみ貿易を許可しており、商売をするには非常に不便な場所であったが、これらの土地を開港・開市することにより外国人が清で貿易をすることが可能になった。また、開港・開市した場所での日本に対する治外法権を認めさせた

台湾への影響

台湾、澎湖諸島はこの条約によって日本領となったが、それにあたって台湾、澎湖諸島の住民に対し条約批准からの約二年間の間に国籍を選択することができる権利を与えると、いう台湾住民国籍決定がなされた。しかし、これは日本国籍、台湾国籍のどちらか好きなほうを選択できるというのではなく、二年間は自由に台湾を去ることができ、期限（1897年5月8日）までに台湾、澎湖諸島から退去しない場合は自動的に日本国民とするというものであった。実際に台湾、澎湖諸島を出たのは6456人で島人口の約2%と少数であった。それ以外の人々は日本籍を持つ「台湾籍民」（籍民：中国民族でありながら外国籍を持ち、その所属領事国の保護下で中国官吏の管轄をうけない人々を指す言葉）となった。また下関条約締結後の日本統治初期は日本統治に対する反発や、日本の暴虐的な政策への反発から抗日運動が盛んに行われた。それにはのちに紹介するいくつかの事件も含まれる。しかし、日本側はそれらの運動を基本的には武力で鎮圧し、時には台湾の人々に利益を与え鎮静化させた。結果的に台湾は第二次世界大戦終戦時まで日本領となる。様々な事件が起きた一方で日本統治時代には経済や医療、教育などの近代化が進み、中国本土とは異なる発展の過程を歩んだ。また台湾は約50年の長い日本統治時代を経て、次第に清国時代の民族意識が薄れ、台湾人としての自らのアイデンティティを築き始めた。

3. 霧社事件（むしゃじけん）

霧社事件（むしゃじけん）は、1930年（昭和5年）10月27日に大日本帝国外地台湾・台中州能高郡霧社（現在の南投県仁愛郷）で起こった、台湾原住民（高山族-賽德克族）による日本統治時代後期において最大規模の抗日蜂起事件である。

原因

この事件が起こった原因はいくつかある。その一つは原住民側と日本側の直接的な衝突であった。日本の警察官が原住民の村で行われていた結婚式の酒宴の場を通りかかった際、モーナ・ルダオ（霧社セデック族部落の一つであるマヘボ社のリーダー）の長男であるタダオ・モーナが警察官を宴に招き入れようと彼らの手を取った。しかし警察官は宴会の不

潔を嫌うあまり警棒でタダオを殴打し、これにより侮辱を受けたと感じたタダオも警察官を殴打した。その他の原因として理蕃政策(日本統治時代に台湾の原住民に対して行われた厳しい政策)、日常的差別待遇、過酷な出役労働、低賃金と警察官によるその着服などへの不満なども挙げられる。また原住民にとって最も深刻な問題は日本人が原住民の文化を全く尊重しなかったことであった。狩猟や首狩、紋面はその一例であり、日本側はこのような文化を持ち、生活する者を野蠻人とした。日清戦争後、原住民たちは警官の監視のもとで文明的な生活を強制されるようになるが、日々鬱屈した不満が高まった。またモーナ・ルダオの妹はマヘボに赴任した日本人の警察巡査に嫁いだが、この巡査は後に勤務中に崖から転落し行方不明になった。この事件に関して、モーナ側は妹が捨てられたと感じた。このような出来事は他の原住民の女性にも発生しており、この事件の一つの原因となった。

経緯

1930(昭和5年)10月27日に霧社セデック族マヘボ社の頭目モーナ・ルダオを中心として霧社各地の警察署を襲った後、霧社公学校の運動会を襲撃した。当時の公学校には一般市民の日本人と原住民以外の現地人が集まっており、彼らは着物を着る者を日本人として襲撃した。しかし、この時の被害者には、原住民の見間違いによって、日本人だけでなく台湾人も犠牲になった。またこの事件の犠牲者は無残にも首を切り落とされる有様であった。10月29日に日本軍ならびに警察は霧社を奪還するため、セデック族との山岳戦に突入した。この際、日本軍は反撃のために催涙ガスを使用し、セデック族を発見すると銃で射殺した。10月30日、モーナ・ルダオは自分の息子であるタダオに戦闘の指揮を託して妻の他家族を殺害し、家屋に火を放った後に失踪した。12月中旬に戦闘が終了した。敵蕃700人ほどの暴徒が死亡もしくは自殺、500人ほどが投降した。またモーナのマヘボ社では壮丁の妻が戦闘の中で全員自殺した。

またこの事件において花岡一郎(本名:Dakis Nomin)と花岡二郎(本名:Dakis Nawi)は非常に重要な人物である。彼らは原住民セデック族出身の警察官である。二人は理蕃政策のもとで日本教育を受け、日本側は原住民に親近感を抱かせるために彼らを霧社部落の警察官として赴任させた。霧社事件が発生した後、彼らは自分達の民族としての意識と日本側の警察官としての立場との間で苦しみ、自殺した。以下は二人彼らの遺書の内容(原文まま)である。

1. 我等は此の世を去らねばならぬ

蕃人のこうふんは出役が多い為にこんな事件になりました

我等も蕃人達に捕らはれどふする事も出来ません

昭和五年拾月貳拾七日午前九時

蕃人は各方面に守つて居ますから 郡守以下職員全部公学校方面に死せり

- 花岡二郎

2. 花岡、責任上考フレバ考フル程コンナ事ヲセネバナラナイ全部此処ニ

居ルノハ家族デス

- 花岡一郎

1911年、モーナ・ルダオは台湾原住民の頭目達とともに台湾原住民側に「開化社会の様子」を教えるための日本観光に招かれた。そこで発展した社会の様子を目の当たりにし、戦いを始めても勝つ見込みが薄いと感じていたため、当初、モーナ・ルダオは反抗しようと強く思っていたわけではなかった。しかし、日本側の暴虐的・侮辱的な行動に耐え切れず、武装蜂起を決意した。それは実際非常に勝利の見込みの薄い戦いであり、勝利するためというよりは部族としての誇りを取り戻すためという側面があった。

モーナ・ルダオ「降伏なんてしないで、自らの命を捧げよう。」

これは日本人の奴隷になり続けるくらいならば死を選ぶという決意である。

補充

(1) セデック・バレ

1930年、日本統治時代の台湾で起こった先住民セデック族による抗日暴動・霧社事件を描いた映画。台湾映画史上最高額となる7億台湾元をかけて制作された。全2部作で、第1部は143分、第2部は131分。

(2) 1934 モーナ・ルダオの遺体が狩猟中の先住民（高砂族）により発見され、(六尺の身長)の遺骨は標本として台北帝国大学土俗人種学研究室に保存された。戦後、台湾大学考古人類学系で保存、陳列。

4. 苗栗事件

苗栗事件(びょうりつじけん)とは1913年に日本領であった台湾にて起こった武装蜂起の既遂・未遂事件の総称であり、苗栗事件、関帝廟事件、東勢角事件、大湖事件、南投事件の五つの事件を指している。なお、これらの事件は連携して行われたものではなく別々に実行されていた。この五つの事件の中でも苗栗事件が一番大きな事件であったためこの名前で呼ばれている。また苗栗事件以外の事件は宗教色の強いものであったが、苗栗事件に関しては辛亥革命の影響を強く受けており一種の革命運動であった。この事件は日清戦争終結後に台湾が清国から日本へと割譲されたことがきっかけで起こり、日本軍による弾圧に対抗し独立を勝ち取るのが目的である。

背景

台湾が清国の領地ではなくなり清国からの支援を得られなくなったことによって、台湾人たちが、自分たちで侵略者と戦うしかないという思いから、台湾民主国を建国。台湾民主国が国際的な支持を集めることを危険視した日本は大量の軍隊を台湾へと派遣し、台湾の武力征服に努めた。数か月に及ぶ戦いの結果、日本は台湾の統治に成功し、植民地支配が開始されるが、その後も独立蜂起が幾度となく起こった。それに対抗するように日本軍の鎮圧も過激化、残虐化していった。こういったことからこのままでは植民地支配を継続できないとした台湾民政長官であった後藤新平が抵抗運動の弾圧と同時に、帰順するものには恩恵を与えるといった政策をおこなった。これにより台湾人の抵抗運動をほぼ粉砕することに成功したが、独立を望む指導者らによって1910年代に羅福星の苗栗事件をはじめとする武装蜂起が行われた。これらの事件の主な主導者である羅福星をはじめ、現在の台北市大同区周辺である大稻埕で活動しつつ、苗栗に活動拠点を構えた。後に羅福星は頻繁に台北と苗栗を行き来し、彼によって「華民会」「三点会」「同盟会」「革命会」などの革命運動組織が発足した。各地の組織の会員は9万5000人余りにまで達した。

事件内容

・南投事件（首謀者：陳阿栄）

1912年12月、羅福星によって革命運動組織が発足。東勢角、南投庄、埔里社などの地から陳阿栄をはじめとする85人の志士が集まった。この蜂起は12月に行われる予定で、南北広くから反響を得た。その結果この蜂起が行われることが外部に漏れ、陳阿栄などの幹部は日本の警察に逮捕され、失敗に終わった。

・大湖事件（首謀者：張火炉）

1913年4月、羅福星が張火炉に働きかけて革命運動組織を発足させ、大墓甲、下罕蘭、などから抗日運動に参加する志士を募った。もとは台中の大甲と新竹の大湖の二つの土地で行われる予定だったが、密告されてしまったことにより張火炉などの志士は逮捕され、蜂起は実行されることなく失敗に終わった。

・関帝廟事件（首謀者：李阿斉）

新竹事件と同時期に羅福星は台南で関帝廟の李阿斉に働きかけて革命運動組織を発足させた。李阿斉は革命の基盤を五甲庄に築き、志士を募った。旧暦の10月に行われる予定だったが、李阿斉が逮捕されこの蜂起は未遂に終わり失敗した。

・東勢角事件（首謀者：頼来）

いくつかの蜂起が失敗に終わった後、羅福星は苗栗出身である頼来に台中で革命運動組織を発展させるように働きかけた。台湾全土復興の基礎を築くため、まずは東勢角のほうにある支部を襲撃し日本軍の兵器や弾薬を奪った後、葫蘆墩、大湖、苗栗など地を攻撃し、最終的には多くの人を集め、台中を攻撃するという計画を企てていた。1913年12月1日明

け方に、頼来は抗日運動の志士を率いて、刀や銃をもって日本の警察が駐留している東勢角支部に攻め入ったが、頼来は流れ弾によって負傷し、指導者がいないという状況下で日本の警察の戦力が強まり、志士たちは退散したが日本の警察の追跡の下で21人が捕らえられた。この蜂起も失敗に終わった。

・苗栗事件（首謀者：羅福星）

1913年9月、日本警察の大湖支部から銃が盗まれたため、警察が捜査していたところ羅福星が各地で設立していた革命運動組織が発見された。12月16日、羅福星は淡水へと逃げ、船に乗り中国大陆へと逃れる準備をしていたが、12月18日に警察によって逮捕された。羅福星が持っていた党员の名簿から関係しているとされる者も逮捕された。検挙された組織の中で、頼来が属していた東勢角事件を主導していた組織のみが東勢角支部の警察を攻撃し、それ以外の組織は参加しておらず全くもって無関係であった。日本総督府は苗栗に仮裁判所を設立し、状況に応じて参加者に取り調べを行った。この事件で921人が報告されたが、1914年3月3日には仮裁判所より578人が不起訴となり、4人は行政処分となった。実際に起訴されたのは死刑を言い渡された20人と有罪となった285人で、34人は無罪とされた。死刑を言い渡された羅福星などの20人の中心人物は台北刑務所にて絞首刑となった。

5. 西来庵事件（せいらいあんじけん）

西来庵事件は、1915年に日本領台湾の台南庁噶吧嘰で発生した武装蜂起。地名から「タパニー事件」とも、首謀者が余清芳であったことから「余清芳事件」ともいう。本島人による最後の抗日武装蜂起であった。事件は約一年続き、参加者は2500人を超えたとされる。

概要

当時、台南市街には西来庵という廟宇があり、余や同じく抗日思想を抱く人たちが蜂起を謀る密議の場となっていた。西来庵での謀議が検挙された後、200人以上の同志が逮捕され、余は台南山間部の噶吧嘰の山中へ逃げ込んだ。自身を大元帥とする「大明慈悲国」を打ち立て、派出所や駐在所を急襲しては日本人官憲と家族らを殺害していった。そのため噶吧嘰では、制圧のために陸軍と警察の大部隊かが投入され、同年8月には日本統治期の「抗日革命事件の中で、最も大きく、壮烈で、悲壮な一戦」が終わる。

事件に関連し逮捕検挙された者の総数は1957人を超え、死刑判決を受けた者は866人となった。しかし、死刑囚866人は多すぎるとし、被害者と同数の95人のみを執行した。その他は大正天皇の即位記念恩赦ということで減刑された。

背景

- ① 1911年から1914年まで毎年起きた台風災害による食料価格の高騰や、日本政府によるサトウキビ工場の接収などに対する台湾民衆の不満があった。
- ② 日本人撃退後は、一種の理想郷を唱えて、人民に貧富の差なく、租税も課さず、法律規則の拘束もなく、絶対無限の自由安楽を享受することが出来るとした。また、日本人撃退に功労ある者には、等級に応じて栄職を授け、多数の俸給を与えた。
- ③ 本来、日本は20ヶ年の期限を以って、台湾を領有するものであるから、1915年は日本人が退去すべき期限である。この時に際したならば、大陸からも多数の軍隊が渡来するものと考え、内外互いに呼応して一挙に暴動を起こせば、日本人を本島より撃退することは容易であるとし、抗日武装蜂起の計画を立てた。

事件の影響

- ① 最も影響力のある抗日事件で、その後のこの地の民権運動発展に深い影響を与えた。
- ② 西来庵事件後はそれまで続いた武装抵抗が途絶え、当時の台湾の知識人たちも、文化的闘争路線に切り替え、順次「台湾文化協会」、「台湾民衆党」等を組織し、並びに台湾文化のアイデンティティ、社会改革促進及び国家の尊厳を打ち建てる等の政策を進めることを目標とした。
- ③ 1000人以上の死者を出したとされ、日本に植民地政策から台湾の人々を日本国民として扱う「内地延長主義」という懐柔策への転換を促したきっかけになったといわれている。
- ④ 1916年に西来庵事件が起きた後、日本政府の宗教活動への監視が大変厳しくなり、大正時代になって衰退傾向にあった台湾仏教はさらに苦しい状況に追い込まれていた。

事件の後

1977年4月に台南県南化郷(現台南市南化区)で「噍吧哖起義抗日烈士紀念碑」及び「抗日義士忠魂塔」を建設し、1981年5月には台南県玉井郷(現台南市玉井区)に「抗日烈士余清芳紀念碑」を設置してもいた。

服装

日本統治時代に於いての台湾の服装の変化を三つの時期に分けて考える。一つ目は1920年代前である。この時期、日本政府は台湾民衆の民族衣装に関しておおよそ不干渉の政策を実行していたため、主なものは伝統的な服装[図1]であった。しかし、西洋化されつつあったため、伝統的な服装のスタイルはゆったりとしたものからフィットしたものへ移行した。それと同時に台湾では、性別を問わず、伝統的な服装や洋服、和服の三者を組み合わせたスタイル[図2][図3]もあった。また日本政府による教育が推し進められ、

制服と日本の足駄も普段着になったと推測される[図4]。



[図1]



[図2]



[図3]



[図4]

二つ目は1930年代である。西洋化教育が普及していくにつれて、洋服や日本の着物、中国で流行していたチャイナドレスなど[図5][図6]が徐々にポピュラーになっていった。また、この時期には、「長袍馬褂」と呼ばれる伝統的な服を着ている人もいた。



[図5]



[図6]

三つ目は1940年代である。日本政府は台湾で皇民化運動を効果的に推し進めるため、台湾民衆に和服を着ることを奨励した[図7]。そのため公学校で勉強している台湾人の学生が日本式の制服を着ている光景もよく見かけられた[図8]。また日本統治時代末、戦争環境の

下では、医療資格を所持せず医療に従事する者も多くいたが、彼らの服装は非常に大きな宣伝効果を持っていた[図9]



[図7]



[図8]



[図9]

まとめ

今回のアンケート結果より日清戦争・下関条約に関して日本人(主に大学生)が知っていることはあまり深い内容ではないと感じた。日清戦争が起きたことや下関条約が締結されたことは知っているという人がほとんどであったが、詳しい内容までは知らないという人が多い。その中で内容などを覚えている人もいるが、やはり起きた年度は知っている、戦争の勝敗、発端は知っているというように、一部分だけを覚えているという人が多かった。

このようになる原因として日本人(ここでは主に現在の大学生と対象とする)は小学生から極めて簡単な歴史を勉強し始め、中学、高校でもう少し細かい内容を勉強するが、覚えることの量が多いことに加えて幅が広いため一つ一つの事件を細かく覚えきれていないのが現状であると考えられる。また歴史に興味を持っている人を除けば、基本的にテストや入試のために歴史を勉強・暗記するため記憶に残らない人が多いのではないかと感じた。しかし何といても学校で使用する教科書に詳しい記載がされていないことが一番大きな原因だといえる。日清戦争や下関条約についても詳しく知らない人が多いのも必然と考える。

今日、台湾と日本は友好的な関係を築いているが、そこに至るまでに、どのようなことが起き、それによってどのようなことが変わっていったのか。ここを知ること、台日関

係におけるさらなる可能性を見出すことができるのではないだろうか。ますます盛んになる台日間の交流を鑑みるに、台湾の観光や食べ物、エンターテイメントだけに目を向けるのではなく、歴史を理解することが重要であるように思う。

参考文献

(下関条約)

下関条約—フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』 (2019年11月25日)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%8B%E9%96%A2%E6%9D%A1%E7%B4%84>

馬關條約—維基百科，自由的百科全書 (2019年11月25日)

<https://zh.wikipedia.org/zh-tw/%E9%A9%AC%E5%85%B3%E6%9D%A1%E7%BA%A6>

台湾住民国籍決定—フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』 (2019年11月25日)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8F%B0%E6%B9%BE%E4%BD%8F%E6%B0%91%E5%9B%BD%E7%B1%8D%E6%B1%BA%E5%AE%9A>

住民去就決定日—維基百科，自由的百科全書 (2019年11月25日)

<https://zh.wikipedia.org/zh-tw/%E4%BD%8F%E6%B0%91%E5%8E%BB%E5%B0%B1%E6%B1%BA%E5%AE%9A%E6%97%A5>

5分でわかる下関条約！ (2019年11月25日)

https://honcierge.jp/articles/shelf_story/7681

下関条約—コトバンク (2019年11月25日)

<https://kotobank.jp/word/%E4%B8%8B%E9%96%A2%E6%9D%A1%E7%B4%84-75403>

下関条約—世界の窓 (2019年11月25日)

<https://www.y-history.net/appendix/wh1303-144.html>

日清戦争の講和条約「下関条約」の締結 (2019年11月25日)

<https://shuchi.php.co.jp/rekishikaido/detail/5030>

【下関条約とは】簡単にわかりやすく解説!!内容・場所・賠償金など (2019年11月25日)

<https://nihonsi-jiten.com/simonoseki-jyouyaku/#i-7>

郝龍斌快讀「住民去就決定日」 (2019年11月25日)

<https://talk.ltn.com.tw/article/paper/792165>

(日清戦争)

日清戦争—フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』 (2019年11月25日)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%97%A5%E6%B8%85%E6%88%A6%E4%BA%89%E4%BC%91%E6%88%A6%E3%83%BB%E8%AC%9B%E5%92%8C>

豊島沖海戦—フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』 (2019年11月25日)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%B1%8A%E5%B3%B6%E6%B2%96%E6%B5%B7%E6%88%A6>

成歆の戦い—フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』 (2019年11月25日)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%88%90%E6%AD%93%E3%81%AE%E6%88%A6%E3%81%84>

平壤の戦い—フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』 (2019年11月25日)

[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B9%B3%E5%A3%8C%E3%81%AE%E6%88%A6%E3%81%84_\(%E6%97%A5%E6%B8%85%E6%88%A6%E4%BA%89\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B9%B3%E5%A3%8C%E3%81%AE%E6%88%A6%E3%81%84_(%E6%97%A5%E6%B8%85%E6%88%A6%E4%BA%89))

黄海海戦—フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』 (2019年11月25日)

[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%BB%84%E6%B5%B7%E6%B5%B7%E6%88%A6_\(%E6%97%A5%E6%B8%85%E6%88%A6%E4%BA%89\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%BB%84%E6%B5%B7%E6%B5%B7%E6%88%A6_(%E6%97%A5%E6%B8%85%E6%88%A6%E4%BA%89))

鴨緑江作戦—フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』 (2019年11月25日)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%B4%A8%E7%B7%91%E6%B1%9F%E4%BD%9C%E6%88%A6>

旅順口の戦い—フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』 (2019年11月25日)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%97%85%E9%A0%86%E5%8F%A3%E3%81%AE%E6%88%A6%E3%81%84>

威海衛の戦い—フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』 (2019年11月25日)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A8%81%E6%B5%B7%E8%A1%9B%E3%81%AE%E6%88%A6%E3%81%84>

牛荘作戦—フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』 (2019年11月25日)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%89%9B%E8%8D%98%E4%BD%9C%E6%88%A6>

乙未戦争—フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』 (2019年11月25日)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B9%99%E6%9C%AA%E6%88%A6%E4%BA%89>

澎湖島領土獲得の戦いとコレラ (2019年11月25日)

<http://sinojapanesewar1894.com/590pescadores.html>

5分でわかる日清戦争 (2019年11月25日)

https://honcierge.jp/articles/shelf_story/5400

日清戦争—世界史の窓 (2019年11月25日)

<https://www.y-history.net/ことば/appendix/wh1303-138.html>

コトバンク—日清戦争史年表 (2019年11月25日)

<https://kotobank.jp/word/%E6%97%A5%E6%B8%85%E6%88%A6%E4%BA%89%E5%8F%B2%28%E5%B9%B4%E8%A1%A8%29-1614670>

描かれた日清戦争 (2019年11月25日)

<https://www.jacar.go.jp/jacarbl-fsjwar-j/about/index.html>

(霧社事件)

フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』 - 霧社事件 (2019年11月30日)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%9C%A7%E7%A4%BE%E4%BA%8B%E4%BB%B6>

コトバンク (2019年11月30日)

<https://kotobank.jp/word/%E9%9C%A7%E7%A4%BE%E4%BA%8B%E4%BB%B6-140463>

フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』 - セデック・バレ (2019年11月30日)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%BB%E3%83%87%E3%83%83%E3%82%AF%E3%83%BB%E3%83%90%E3%83%AC>

モーナ・ルダオ 莫那・魯道, Mona Rudao, 1880-1930 池田光穂 (2019年11月30日)

https://www.cscd.osaka-u.ac.jp/user/rosaldo/Mona_Rudao_Seediq_Bale.html

物語と歴史：霧社事件ってなんだろう？ (2019年11月30日)

<http://web.thu.edu.tw/mike/www/class/Tainichi/data/mushajiken.html>
台灣演義：霧社事件(1/3) 20110911(2019年11月30日)
<https://www.youtube.com/watch?v=W9ZF1P6GePo>
台灣演義：霧社事件(2/3) 20110911(2019年11月30日)
<https://www.youtube.com/watch?v=5DscTPOn--E>
台灣演義：霧社事件(3/3) 20110911(2019年11月30日)
<https://www.youtube.com/watch?v=BOFPEX5K0kU>
維基百科－霧社事件(2019年11月30日)
<https://zh.m.wikipedia.org/zh-tw/%E9%9C%A7%E7%A4%BE%E4%BA%8B%E4%BB%B6>
フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』－理蕃政策 (2019年12月5日)
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%90%86%E8%95%83%E6%94%BF%E7%AD%96%E7%9A%87%E6%B0%91%E5%8C%96%E9%81%8B%E5%8B%95%E3%81%A8%E5%85%88%E4%BD%8F%E6%B0%91%E6%97%8F>

(苗栗事件)

フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』(2019年11月10日)
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%8B%97%E6%A0%97%E4%BA%8B%E4%BB%B6>
維基百科，自由的百科全書(2019年11月10日)
<https://zh.wikipedia.org/wiki/%E8%8B%97%E6%A0%97%E4%BA%8B%E4%BB%B6>
羅福星與苗栗事件(2019年11月10日)
<https://www.ydn.com.tw/News/100621>

(西来庵事件)

明田川聡士「李喬『結義西来庵』における「抗日」表象の重層性 —1970年代官製文学の中での抵抗と台湾意識の再編成—」
http://www.jats.gr.jp/journal/pdf/gakkaiho017_08.pdf(2019年11月30日)
フォーカス台湾—日本統治時代最大の抗日蜂起 ランニング大会で理解促進(2019年11月30日)
<http://japan.cna.com.tw/news/atra/201806210002.aspx?fbclid=IwAR0dWmhTbn3-s9Lv3MQ3mB8dl-tBb2BJ6RCvn3apsBAxWY2t7I5ZpzFof0>
15年戦争資料@wiki—第8章 二大抗日事件(2019年11月30日)
<https://w.atwiki.jp/pipopipo555jp/pages/2029.html>
藤野陽平「日本統治下台湾における対日感情の整理と分析 日本統治下台湾における対日感情の整理と分析 —漢族と原住民の比較を中心にして—」(2019年11月30日)
<http://web.flet.keio.ac.jp/~shnomura/zemi/thesis/soturon-fujino.pdf>
荏苒(じんぜん)として歳月は頽(くず)れ「頼清徳台南市長、西来庵事件を語る」(2019年11月30日)
<https://suiyuetui.blog.fc2.com/blog-entry-532.html>
台南・ダイアリー開元寺(中編) —台南古跡探訪1(2019年11月30日)
https://blog.goo.ne.jp/kool_tada/e/bafba48fb39225c96c16e4ff1999a5f1

(服装)

台灣女人(2019年11月30日)

https://women.nmth.gov.tw/information_53_39723.html

出典：簡永彬『凝視時代-日治時期台灣的寫真館』（2019.06）左岸文化

参考ページ数：28, 32, 49, 50, 63, 147, 154

（アンケート）

<https://docs.google.com/forms/d/1SvYSL46hiU1FvWxRXgN77FYmEg--vASLH63HUjr88eA/edit>